

平成 30 年度 公開講座 心身症セミナー第 2 回 報告

先に実施しました公開講座「心身症セミナー」について下記のとおり報告します。また、ご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

1 心身症セミナー第 2 回の概要

日時 平成 31 年 2 月 25 日（月） 午後 2 時 15 分から 5 時 00 分

場所 大阪府教育センター

対象 府内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、支援学校の教員及び教育関係者

内容 テーマ「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

①実践報告「不登校傾向の児童に対する通級指導教室の指導」

寝屋川市立南小学校 教諭 三宮将男

通級指導教室や不登校に関する現状についての説明の後、事例を基にして、児童へのかかわり方や指導後の児童の変化と成長、今後の課題などについて報告があった。また、指導の中で大切にしていることについて、児童の自主性・自己決定を尊重し、それぞれに合った指導方法を考えることが挙げられた。

②「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

堺咲花病院 心身診療科医師 村上佳津美

不登校や子どもの心身症についての現状をふまえた報告の後、不登校初期の状態にある子どもやその保護者の様子、また医療機関とのかかわり方について説明があった。心身症の代表例として起立性調節障害、機能的消化管障害、慢性頭痛、過換気症候群、また発達障害の解釈方法について解説があった。最後には、医療・教育・家庭の連携のあり方について、現状と今後の方向性について助言があった。質疑応答の時間には、参加者がかかえている困りごとや質問に対して、直接回答があった。

2 アンケート結果報告 外部から 94 名（アンケート回収 89 名 回収率 95%）

①参加者

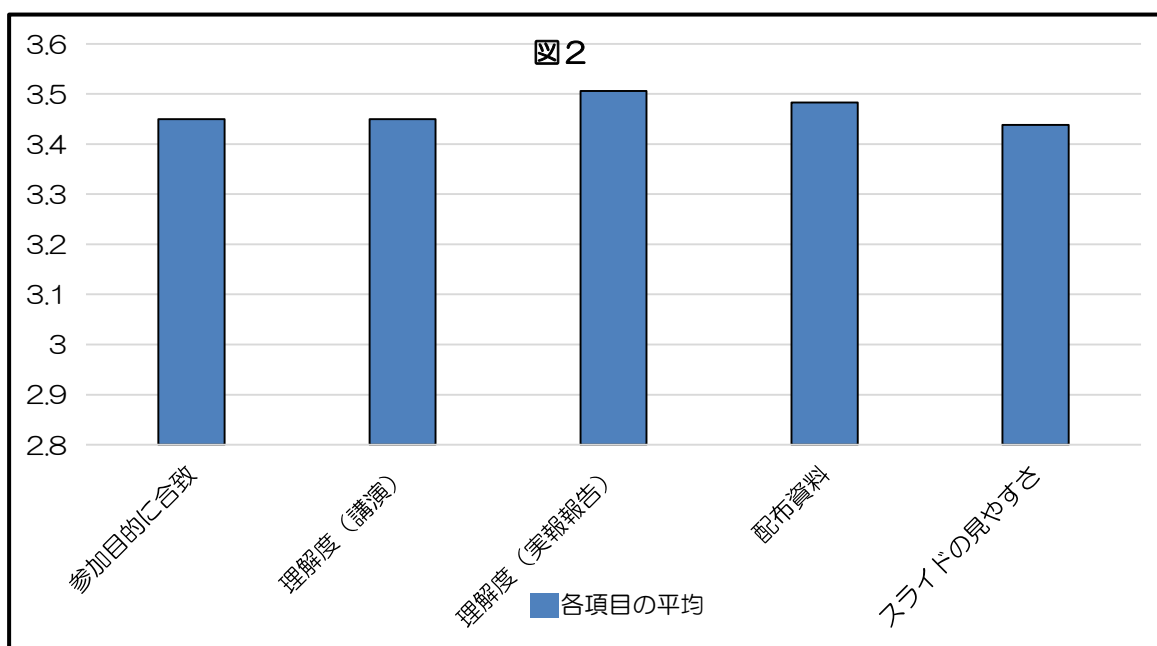
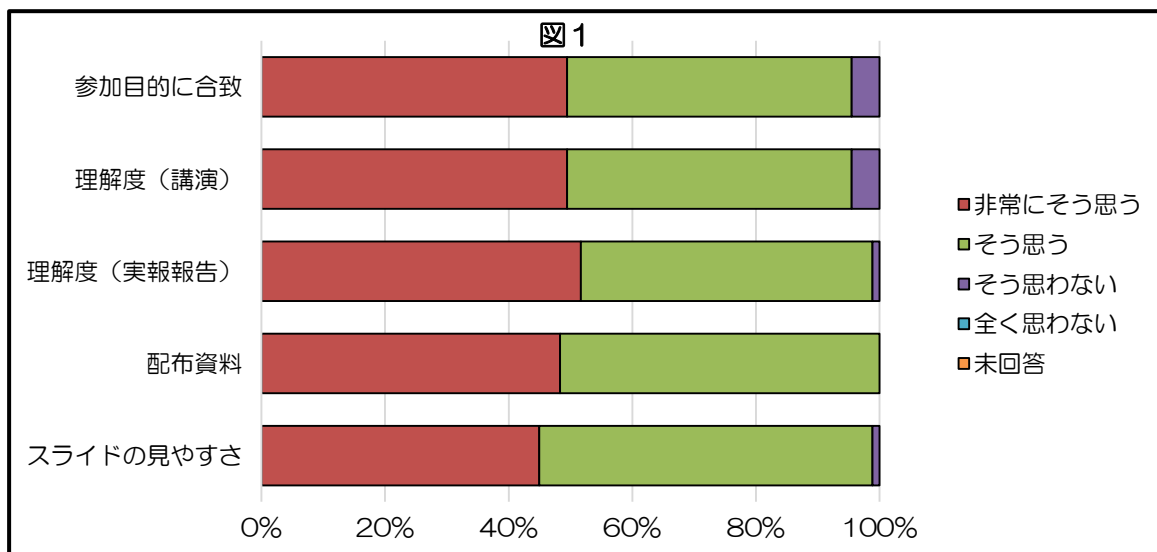
外部から 94 名（幼・保 1%、小学校 52%、中学校 39%、高等学校 3%、支援学校 5%）の参加があった。職種では、教諭・講師が最も多く 54%、次いで養護教諭・助教諭が 34%であった。

職種	管理職	教諭・講師	養護教諭・助教諭	その他	合計
	6	48	30	5	89

所属	幼・保	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	合計
	1	46	35	3	4	0	89

②セミナーの内容

(アンケートは4点法で集計。平均2.5点以上が肯定的評価である。)



3 考察とまとめ

- ① 2日のうちに100名以上の参加申し込みがあり、教育現場においても不登校を伴う心身症の子どもたちへの対応は関心の高いテーマであることがうかがえる
- ② 図2では、どの項目についても3点を超えており、好評であった。
- ③ 「医療・家庭・学校の連携は必要であるが、それぞれの状況をふまえてタイミングよくかかわっていくことが大切である」という医師からの助言があった。